


たんぽぽ



NO. 26
H1.7.31
—発行—
〒869-12
熊本県菊池郡
大津町森54-2
社会福祉法人
三気の会
三気の里
TEL096
293-8100

事務長

理事長 田中 稔

今福さんと初めてお会いしたのは、昼食時のある食堂でした。ひょいという風な感じで顔を合わせて、5分間程話をしたのが始まりです。ご縁があつて三気の里の事務長として勤務頂く事になりました。ネクタイをしめて机の前に座っておられる様だと困るなという私の心配をよそに初めから、子供達の中で頑張つて頂きました。麦わら帽子に長靴、腰にはタオルを下げ、まだ整備されていなかった施設敷地の整地に、又長雨による土壁のくずれの補修に汗を流されています。子供達との入浴(当施設では毎日、全員入浴をします)や食事も一緒でした。初めは、自閉症の子供達との生活にびっくりされ

たと思えますが本当に良くやつて頂きました。特に経理の経験が確かなものでしたから、開所準備から開所後1年間の複雑な書類や台帳の整備等の経理事務を正しく、しっかりと軌道に乗せて頂きました。週1回1〜2時間しか園の方へ行かれない私にとっては安心してまかせておれました。少なくとも3年は勤務頂けるものと思つていました。が、この春退職されました。慣れない仕事健康をそこなわれた様です。又、一般社会通念に乏しい私と各福祉機関との間にたつて苦勞されたと思ひます。退職されて3ヶ月、おられた事の大きさを実感しています。

医療でも福祉でもうまくいっている職場には、目立たなくて、しかもその職場の考え方や常識のレ

ベルをしつかり保ってくれるキイ
ーポイントとなる人がいて支えています。そういう人に再びめぐり逢い、事務長職をお預けしたいと思つています。

「事務課」を来春をめどに再建するつもりでいます。

誠実で健康で健全な常識を持っている事務長、「求む！」



新入園生紹介

たいせい君

平成元年6月19日、今日から三気の里の一員になる泰成君を紹介致します。

昭和48年9月21日生まれの15才です。歌が好きで、長渕 剛の乾杯を夏祭りで披露しようと思つています。追っかけっこも好きで、園内を大きな声を出して駆け回っている疲れを知らない元気な子です。

田辺

療育シリーズ

薬の目的

園長 土井尚典

見学者の中にはお子さんの相談で来園される方がいる。パニックの事、こだわりの事、将来の事等話されるが、どの一つをとっても御苦労が伝わってくる。実際にお子さんの事を知らない私にはその大変さがイメージとしてわからないので話しを聞いたり、私の方から質問したりする位しかできないので、わざわざきていただいで、申し訳なく思う。

私からの質問の一つに「お薬をのんでいますか」というのがある。安定剤をのませた事がある方やのませている方に「薬の名前はわかりますか」と尋ねると「薬をもつて来れば良かった」と答えられる。多分、私は薬をみてもほとんどわからないだろう。そこで質問を変えて、「何のためにのまされていきますかと尋ねると「安定剤です」と

かえって来る。薬には名前や効能

や副作用もあるのだが、つい聞き

忘れて、のませる目的は「安定」

で納得されてしまっているようだ。

パニック一つをとっても不眠が引

金だったり、こだわりを止めたり

した時、又暴力、自傷、物こわし

等の行動もある。どんな点を改善

又は緩和したくて投薬されている

のか知っている事は大切である。

投薬のきっかけは比較的はつきり

しているのをお尋ねすると、パニッ

クやこだわりがひどい時に相談な

さってはじめてられたようである。

投薬してみてもどうでしたかと尋ね

ると、「ボーッとしてしまふ」「ご

ろごろする」等に目が向いてきつ

かけの方に目が行かないようであ

る。投薬のきっかけは困った状態

があったからであり、困った状態

に対して薬が効いているのかは大

切な事である。副作用に目が向い

てしまうと医師に相談することな

く、止めてしまう事になる。そし

て困った状態がまた続いてしまう。

副作用等の不安がある時は医師に

話してみる事が大切である。持っ

ている不安は何でも医師に話す事

は失礼になるどころか大切な事で

ある。何の為にどんな薬を飲ませ

るのかを医師から聞く事は安心し

てのませられるし、医師を信頼で

きるようになる。「お医者さんは

いい方なんだけど、お薬がねえ？」

というトンチンカンな不安をなく

すことができる。のませなくて済

む薬を誰もませようとは思わな

いし、医師はその点専門家である。

三気の里では「園生の全生涯を

見通して療育していることをケー

ス・ワークと定義している。医師

は、特に医療面を中心として全生

涯を見直していくケース・ワーク

のメンバーである。更に親こそ、

ケース・ワークの中心メンバーで

ある。時にはケース・ワークのコ・

オーディネーター（指揮官）とし

て働く必要もある。薬の目的は大

切にしましょう。

☆☆

七夕まつり



笹の葉サラサラと七夕の歌でもおなじみの七夕が三気の里でも7月7日より一日早く7月6日に行われました。この日一番の見物は、みんなが前日より作った笹飾りと、女の子の浴衣姿。この日は、夕方7時より七夕祭りを始めるといふ事で女の子達には、『少し早めにご飯を食べてね』と声かけをして、小道指導員とその他の女子職員の手で着付けが始まったのが夕食後。7時までまるで戦争の様で、どこそでキヤーキヤーという嬉しい悲鳴が聞かれました。企画を考えた時には、女の子達には全員浴衣を着せようと言ってはみたものの、実際、浴衣を貸して頂くのも一苦労。なかなか骨がおれましたが、当日の女の子達の嬉しそうな顔、いつものおてんばぶりはどこえやら浴衣を着て静かに歩く姿に男の子達も、これはいつもとちがうぞと言った感じで女の子達を見ていました。

さて、こうして始まった七夕祭りの方はというと、まず新人Aの伊石指導員の七夕の話。その後ひこ星に変装した木下指導員と織姫に変装した厨房の長友さんが登場しまして、三気の里のお友だちに七夕のプレゼント、皆に星のカードを配り一人一人ボランティアさんよりプレゼントをもらってニコニコ。あまりの嬉しさにカードを半分食べちゃう子までいました。そして、その後みっちゃんの伴奏により全員合唱で七夕の歌をうたいました。ボランティアさんからおやつのアメをもらい口に入れたところで今度は、花火を見て楽しみました。ちょうど、日が暮れて花火が楽しめました。みんなの表情がにこやかになったところで記念撮影。ハイポーズ。皆の浴衣姿やくつろいでいる姿をカメラにおさめる事が出来ました。本当に楽しい夕暮れ時を過ごせました。各担当の職員の皆さん、御苦労様でした。

伊石

ただいま

食堂営業中

7月6日、一足早く恒例の七夕祭りがありました。真っ赤なスイカに緑の笹をあしらった、かわいくて愛らしい七夕スイカを夕食に食べました。園生の中には、笹が何かなあと思えた人もいたかも知れませんが、真ん中から食べる人、半分に割って食べる人、種まで食べる人、中には皮までおいしそうに食べてしまった人もいました。残さず食べてくれるのは嬉しいのですが、お腹をこわさなければ良いと、ちょっと心配でした。夕食の後は、中庭で七夕祭りが開催されました。なごやかなひとときを楽しみました。職員も園生も童心にかえり、遠い天の川に願いをささげました。私達も願いを込めて、短冊に書きました。もちろん、みんなから喜んでもらえるおいしい食事を作れる様になりたいと。どうか、ひこ星さん、おり姫さん、か

なえて下さい。

大田黒

3 班・夏だ！海だ！

Let's Summer! という事で今回の3班レクは海へとびだしてみました。広がる海、澄みきった青空、昨日までの雨は日ごろの行いでふっとばし、思いっきりEnjoyした私達でした。

到着と同時に昼食、でも、はやる心は押さえ切れないとばかりに弁当もそこそこに、元気に海へと走り出しました。準備体操でしっかり体をほぐし水遊びを楽しむ博君、まるでトドが溺れたみたいに泳ぐ啓三君、深みにはまり、わらをもつかむ気持ちですがりつく建ちゃん、岩場の石に痛いとはかりに『イヤイヤ』を連発の新ちゃん、海でも洗顔稔君、お父さんから泳ぎの特訓を受けた前田君、クロール上手の希久ちゃん、ペアで泳ぐ哲ちゃん、ヤッちゃん、海より砂場だの憲一君、濡れるのが苦手な一章君、みんな日に焼け、一段とたくましく見えました。初泳ぎバンザイ!!!

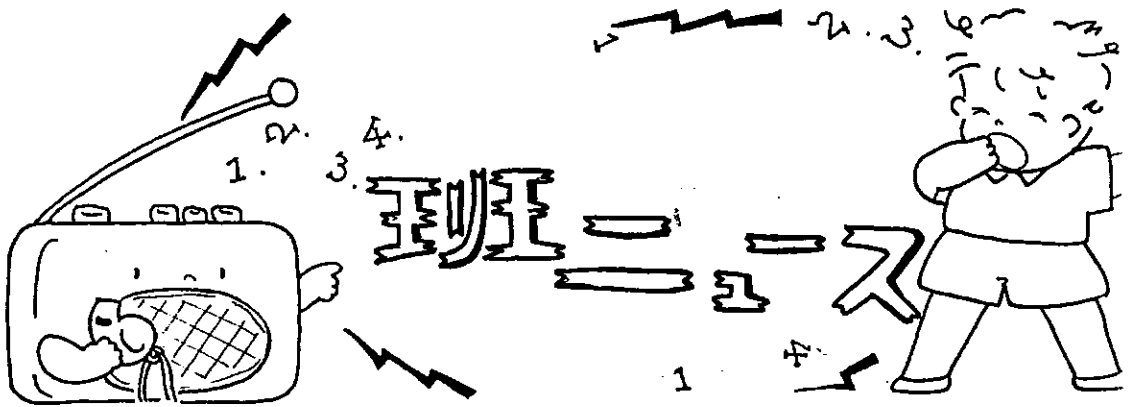
田之上



4 班・愛情は遊園地で！

今回は、遊園地に行き笑って過ごした一日でした。まず、昼食でいつまでもちびちびジュースを飲んでいるまーちゃんに、誰かが「飲まんとね」と声をかけるとすかさず、もらえろと思ったのか敬ちゃんが寄って来た。もらえないことが解ると「あららららっ」と言って残念そうだった。ちなみにジュースはチオビタではなく、オレンジでした。次に、観覧車をなんと止めてしまったという陽ちゃん。観覧車に乗りたけれど恐くて乗れず、係員の方が手伝って乗せようとしたが嫌がり、ついに運転を止めて乗せてくれた。う〜ん親切！それから、ジェットコースターに乗ったとたん顔色を変えたのが信ちゃんと創くん。最後まで真ん丸な目をしてました。楽しみにしていたゴーカートに一人で乗ってガッツポーズをした修ちゃん。観覧車が恐くて嫌がっていたが担当の長時間にわたる説得でやっと乗った正利さん。ゴーカートを運転し、同乗した山中さんにスリルを味わわせた博くん。観覧車のでっぺんで「ひっくりかえるかと思った」と言った辰治さん。ジェットコースターにのり、恐くて口もきけなかった由美ちゃん。終止にこにこして楽しんでいた宏幸くん、ふたみさん、典くん。彼らは、観覧車、チェーンタワー、ゴーカート、ジェットコースター、と乗りまくり、それでも乗りたらなかった様でした。暑くて死にそうだった顔も、帰るころには、天使のような笑顔。もちろん楽しかったからだよねッ！

坂本ゆ



1 班・かぼちゃは何に化けたかな？

「クッキー作りをします」とおすまし顔のかつきくん。「ケーキ、ケーキ」と美しい声で繰り返すのはみっちゃん。ここはアイデアルーム。真っ白な白衣と帽子を身にまとった1班の面々。畑でたった1個だけ大きくなったかぼちゃを囲んでの討論会。「簡単で、おいしくて、かぼちゃの味が楽しめるもの…ウン、これしかない。」まず、力もちのえっちゃんが、エイッとチョップでかぼちゃを割り（これはウソ）、みんなは順番に包丁を手にし、小さく切ってくれました（ウマイゾ）。鍋に移して柔らかくなるまで煮たらボールにとり、めん棒でエイッエイッとつぶしました。そこへバター、砂糖、卵、牛乳を加え、しゃもじでグルグルかき回し、ホイールカップに移してオーブンでチーン。ほっかほっかの「スイートパンプキン」の出来上がり。ウーン、デリシャス。かぼちゃの煮ものもおいしいけど、お菓子にしてもなかなかいけますよ。一度お試しあれ！1班のお料理講座でした。（誰かな、鍋を指さして醤油、醤油と叫んでいたのは？）

平川

2 班・キャンプ場でのバーベキュー

時は、7月20日の木曜日。天気は晴れ。のんき号にお母さん方6名と一緒に乗っていざ出発。久美ちゃんは、早速甘え始めました。キャンプ場に着くと、あっこちゃんはお母さんと水遊び、俊ちゃんはスイカの水の番、浩ちゃんと武彦くんは、コックさん。文ちゃんと英くんと民ちゃんはおやつの番をそれぞれしてくれました。お母さん方も串にさしたり、火をおこしたり、焼いたりと大活躍。しかし、火をおこすのが下手な職員では、なかなかうまく火加減が出来ず、何時間もかけてのバーベキュー。とってもおいしかったけど、もっとうまく火がおこせたら……。の声がちらほら。まあ、何か失敗がない事はない2班としては当然かな。来年は「火をおこすのを上手になるぞ」と気合が入ってます。お母さん方、忙しい中ありがとうございました。そして、これからも協力よろしく願います。

高橋

「入園について」

松村雅子

早いもので、我が子泰成が入園して一か月がたちました。三氣の里の園の方針や内容は、開園と同時に入園された子供さんをもつ知人から、よく話を聞いていましたので不安というものはあまりなく、期待の方が多くありました。四月にあった三氣の里の開園祭には、泰成も連れおじゃましました。もし入園させていただけたなら泰成もスムーズに園の場所や環境に、慣れるのではないかと思ったからでした。開園祭は、子供と先生方、保護者が一体となって盛り上げ楽しく進行していった感じでした。比較は出来ない事でしょうが、三氣の里には、自閉症をよく理解してくれる雰囲気が多くあります。のん気、根気、元気は健常児にもいえる子育ての姿勢でしょうが、特に回りの雰囲気に敏感な泰成の様な子供にはなくてはならないものだと思います。そして園長の土

井先生は親の私にはちょっと厳しい方に思いますが子供には限りなくやさしい方だと思えます。自閉症と診断された泰成が、長い一生を送る所として理想の園だと私は確信しています。今、二週間に一度の帰宅日を家族は楽しみに待っています。泰成の三才下の弟には、時々言うのです。「イスでも4本の足があつて初めてぐらつかないで立つよね、うちの家族をイスに例えるなら泰成の一本の足が少し弱いからその分、お父さん、お母さん、護が頑張つて守つてやらなくてはならないんだよ。」と・・・弟は良く分かってくれている様です。気持ちばかり子煩悩で仲々行動が伴わない主人ですが、泰成が大きくなるにつれ、段々母親の必要性が分かってくれ、良く協力してくれる様になりました。

今は泰成の存在が私達親を育てて家族を育ててくれている様に思っています。

お知らせ

6月26日〜7月1日迄、附養のお母さん(馬場様)が自宅を開放され手作り小物店を開催されました。「三氣の里もどうですか。」とお声をかけて頂きましたので、早速数名のお母さん方にご協力を願ひ、目下好評中のブローチ等を出品する事になりました。

収益の一部は、育成会に寄付というのが条件でしたのに、『三氣の里は子供達の為に使ってもらえたら良い』という事で売上の3万8千円をそっくり頂く結果になりました。それで、先日子供達の布団がいつも清潔である様にと布団干しを5組購入しました。お天気の良い日に多いに活用されています。子供達もポッカポッカの布団でさぞかし気持ちが良い事でしょうね。

1週間も自宅で接客された馬場様、それからお手伝い下さったお母さん方、本当にありがとうございます。

※ 毎週土曜日の午前中、園の方でブローチ作りをやっています。自分是不器用だからと敬遠されているお母さん、簡単！一度覗いて見られませんか？

田中

気になる栄養の話題

『アルコール飲料をとりすぎないように！』

毎日暑い日が続きますね。こんな時、思わずアルコールに走っていませんか。お風呂上がり一杯が思わず二杯、三杯：：となっていてませんか。週のうち、二日連続してアルコールをとらない日が作れば、アルコール依存症にはなっていないといいますが、皆さんいかがでしょうか。ちなみに、私は依存症でないことを前置きしてアルコールについて書きたいと思えます。

アルコールは、高エネルギーで他の栄養素は殆ど含まれていません。肥満した人が痩せなければならぬ場合に、アルコールでエネルギーをとっていると、痩せにくいのです。お酒を飲むと自制心を失い、適量を過ぎやすくなり、食事も多く食べる心配もあります。酒そのものが悪くなくても、栄養

のバランスが乱れる事が問題です。

興呂木



ぼらんていあ通信

暑中お見舞い

申し上げます

暑い暑い夏、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

今、三気の里では夏祭り、夏季帰宅訓練を控え、何となくソワソワとした毎日を送っています。さて、今回は9月、12月の主な行事の紹介です。

- 10月19日 バスハイク
 - 12月21日 クリスマス会
 - 毎週木曜日 班レクレーション
 - 毎週木曜日 動作法訓練
- などです。また、9月と11月には、

園生の普段の生活を覗いたり、一緒に作業したりするという内容の学習会も企画しています。この夏を元気に乗り切った皆さんの、エネルギー的な活躍を期待しています。

ぼらんていあありがとうございます

7月6日 七夕祭り

大村 亜佐子さん(尚綱短大)

坂本 孝子さん(熊本市立高校)

7月20日 2班レクレーション

山室 明美さん(保育大学)

施設見学会

はなぞの学苑

先日、はなぞの学苑を見学させていただきました。ちょうど作業の時間で、園生の皆さんは、木工・竹工、陶芸、紙器工作などの各作業に分かれて取り組んでおられました。どの作業部屋も、準備しやすく、片付けやすく整理されており、一目で『わかりやすい』『お

8月の行事予定

1(火)	11(金) ↓ プール指導	21(月)
2(水)	12(土) 火の国祭り総踊り	22(火)
3(木)	13(日) ↓	23(水) 体重測定
4(金) 夏祭り	14(月) ↓	24(木)
5(土) 夏季帰宅訓練・帰宅日	15(火) ↓	25(金)
6(日) ↓	16(水) ↓	26(土)
7(月) ↓	17(木) ↓	27(日)
8(火) ↓ プール指導	18(金) 帰園週間	28(月)
9(水) ↓ プール指導	19(土) ↓	29(火)
10(木) ↓ プール指導	20(日) ↓	30(水)
※動作法未定	※火の国祭り総踊り (希望者)	31(木) 誕生会

※やろう会日程・未定

後援会より

平成元年度会員の皆様

澤田良昭

清田美加

今福 斉

田辺剛政

清藤文弘

田中照見

橋本加代子

規工川元徳

福田春幸

井口俊子

島喜久子

鎗水史朗

福田元之

松野信枝

亀崎幸久

竹中広敏

水上千恵子

小野耕三

山室誠弥

尾崎元昭

坂井省英

平川聖子

吉永脩二

西田秀徳

井口 忍

松岡淳子

前田恭男

桜木勇夫

岩田国幸

7月20日付け

※ 敬称略

暑い毎日ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回もたくさんの皆様が入会して下さいました。ありがとうございます。

7頁より

中でも木工作業班の私にとって印象的だったのは、木工用具が板に形どってあり、種類別に掛けられる様になっていた事です。これなら金づちが一本足りない心配する事もない訳です。竹ぼうき作りで、バレーボールのネット張りを利用されていたのもおもしろかったです。ちよっとしたアイディアがいつも指導員には求められます、と園長先生の言葉にありました。設備を整えるだけでなく、見易く分かり易くする為の工夫が三気の里にもっと必要だと感じました。園の皆さんの元気な挨拶に、気持ち良く見学させて頂きました。

編集後記

小道

いよいよ夏本番ですね。三気の里では夏季帰宅訓練に入ります。ここでの生活のリズムを忘れないように、楽しく、元気に過ごして来て下さい。みやげ話待ってまー

浮